

研究課題名	甲状腺癌全摘後患者における術後不定愁訴等の後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	甲状腺癌全摘後の患者さんは、術後前頸部の様々な症状（不定愁訴）を訴えられる場合があります。人によってはかなり辛いのですが、今まで、これらの不定愁訴の種類頻度について調査された研究はありませんでした。これらの問題は一般には広く知られておらず今後の甲状腺癌の術後管理に役立たせるため、今回、甲状腺全摘後当科に紹介された患者様のカルテからこれらの不定愁訴に関するデータを抜き出し不定愁訴の割合・内容について調査いたします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2010年4月～2019年3月に大阪市立大学医学部附属病院の核医学科に、I-131内用療法のために紹介された患者様が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 年齢、性別、病理（乳頭状腺癌・濾胞状腺癌）、術後初診までの日数、気管切開の有無、残存甲状腺床破壊治療か転移の治療か、完全甲状腺全摘術か片葉切除後逐次的全摘術または全摘後頸部廓清後か、完全甲状腺全摘術を行った患者様には、術前の病期分類に関する情報、術後不定愁訴の有無、その内容
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院〇〇科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	例）この研究は大阪市立大学医学部附属病院核医学科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 核医学 研究責任者 河邊 讓治
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科核医学教室 担当者名：河邊讓治 電話番号 06-6645-3885 メールアドレス kawabe@med.osaka-cu.ac.jp